

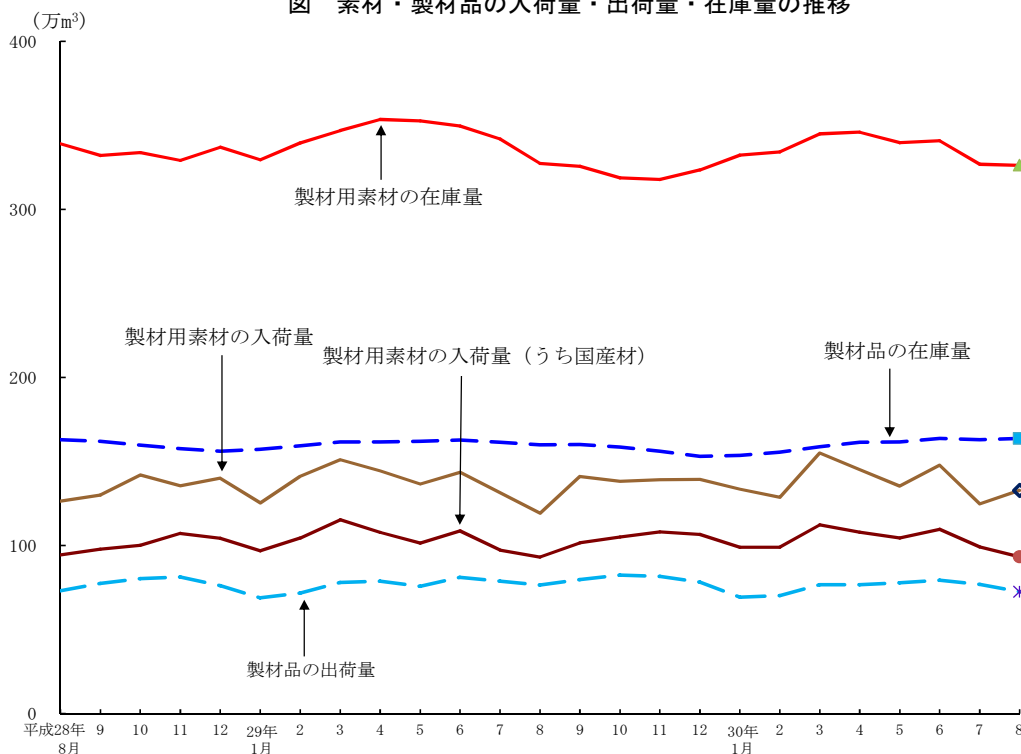
## 製材統計(平成30年8月分)

製材用素材の入荷量は、前年同月に比べ11.4%増加  
製材品の出荷量は、前年同月に比べ5.2%減少

### 【調査結果の概要】

- 1 製材用素材の入荷量は132万8千 $m^3$ となり、前年同月に比べ11.4%増加した。うち国産材は93万3千 $m^3$ となり、前年同月に比べ0.2%増加した。
- 2 製材用素材の在庫量は326万3千 $m^3$ となり、前年同月に比べ0.3%減少した。
- 3 製材品の出荷量は72万4千 $m^3$ となり、前年同月に比べ5.2%減少した。
- 4 製材品の在庫量は163万7千 $m^3$ となり、前年同月に比べ2.4%増加した。
- 5 製材用素材の消費見込量（翌月）は136万8千 $m^3$ となり、前年同月に比べ95.8%となっている。
- 6 製材用素材の消費見込量（翌々月）は140万3千 $m^3$ となり、前年同月に比べ98.7%となっている。

図 素材・製材品の入荷量・出荷量・在庫量の推移



## 【統計表】

### 1 製材用素材の入荷量、消費量及び在庫量

### 2 製材品の生産量、出荷量及び在庫量

月別	単位：千m <sup>3</sup>			単位：千m <sup>3</sup>		
	入 荷 量	消 費 量	在 庫 量	生 産 量	出 荷 量	在 庫 量
平成29年 8月	1,192	1,339	3,273	748	764	1,599
9	1,411	1,428	3,256	801	798	1,602
10	1,381	1,449	3,188	810	825	1,586
11	1,392	1,402	3,178	792	816	1,562
12	1,394	1,337	3,235	751	782	1,531
30年 1月	1,335	1,247	3,323	698	692	1,537
2	1,287	1,268	3,342	718	701	1,554
3	1,550	1,442	3,450	800	766	1,588
4	1,451	1,442	3,459	794	768	1,614
5	1,354	1,417	3,396	779	777	1,616
6	1,478	1,466	3,409	815	794	1,637
7	1,247	1,387	3,269	761	769	1,629
8	1,328	1,334	3,263	732	724	1,637
対前月比 (%)	106.5	96.2	99.8	96.2	94.1	100.5
対前年同月比 (%)	111.4	99.6	99.7	97.9	94.8	102.4

- 注：1 「1 製材用素材の入荷量、消費量及び在庫量」の表における前月の在庫量と今月の在庫量の関係は、次式のとおりである。  
 今月の在庫量＝前月の在庫量＋今月の入荷量－今月の消費量  
 また、平成30年6月分の在庫量は、調査対象工場において変動があったことから上記計算式とは一致しない。
- 2 「2 製材品の生産量、出荷量及び在庫量」の表における前月の在庫量と今月の在庫量の関係は、次式のとおりである。  
 今月の在庫量＝前月の在庫量＋今月の生産量－今月の出荷量  
 また、平成29年10月分の在庫量は、調査対象工場において変動があったことから上記計算式とは一致しない。
- 3 平成30年6月分の調査結果は、平成30年7月豪雨の影響により、愛媛県及び高知県の一部の工場の調査票が回収できなかったことから、当該工場については、5月分の調査結果を用いて推計した（以下4の統計表まで同じ。）。
- 4 平成30年7月分の調査結果は、平成30年7月豪雨の影響により、愛媛県の一部の工場の調査票が回収できなかったことから、当該工場については、7月中の工場の操業がなかったものとして推計した。（以下4の統計表まで同じ。）。

### 3 国産材、輸入材別製材用素材入荷量

月 別	計	国 産 材			輸 入 材
		小 計	針 葉 樹	広 葉 樹	
平成29年 8月	1,192	931	922	9	261
9	1,411	1,016	1,007	9	395
10	1,381	1,051	1,041	10	330
11	1,392	1,081	1,069	12	311
12	1,394	1,066	1,056	10	328
30年 1月	1,335	989	974	15	346
2	1,287	990	980	10	297
3	1,550	1,123	1,107	16	427
4	1,451	1,079	1,061	18	372
5	1,354	1,045	1,028	17	309
6	1,478	1,097	1,078	19	381
7	1,247	991	977	14	256
8	1,328	933	919	14	395
対前月比 (%)	106.5	94.1	94.1	100.0	154.3
対前年同月比 (%)	111.4	100.2	99.7	155.6	151.3

#### 4 製材用素材及び製材品の都道府県別結果

単位：千<sup>3</sup>m

全 国 ・ 都道府県	製 材 用 素 材						製 材 品					
	入 荷 量		消 費 量		在 庫 量		生 産 量		出 荷 量		在 庫 量	
	当月値	対前月差	当月値	対前月差	当月値	対前月差	当月値	対前月差	当月値	対前月差	当月値	対前月差
全 国	1,328	81	1,334	△53	3,263	△ 6	732	△29	724	△45	1,637	8
うち北海道	130	△37	149	△ 8	500	△19	70	△ 4	69	△ 8	74	1
青 森	13	△ 1	13	△ 1	146	0	6	△ 1	7	0	14	△ 1
岩 手	44	△ 2	50	△ 4	88	△ 6	25	△ 2	23	△ 4	52	2
宮 城	14	△ 6	16	△ 2	34	△ 2	8	△ 2	7	△ 2	57	1
秋 田	35	△ 9	41	△ 2	78	△ 6	19	0	19	△ 2	54	0
山 形	23	△ 5	27	△ 4	35	△ 4	12	△ 2	12	△ 3	18	0
福 島	55	△ 2	57	△ 4	184	△ 2	28	△ 2	29	△ 3	51	△ 1
茨 城	129	55	101	△11	137	28	60	△ 5	65	△ 5	50	△ 5
栃 木	33	△ 1	38	△ 1	116	△ 5	21	△ 2	21	△ 2	7	0
群 馬	11	2	11	△ 1	26	0	7	0	7	0	12	0
新 潟	12	1	13	1	29	△ 1	8	0	9	1	19	△ 1
長 野	10	△ 5	12	△ 2	135	△ 2	7	△ 1	7	△ 1	15	0
岐 阜	21	1	20	△ 1	59	1	11	0	12	0	22	△ 1
静 岡	15	△ 2	18	0	78	△ 3	11	△ 1	11	△ 1	27	0
愛 知	8	△ 3	10	△ 1	25	△ 2	6	△ 1	6	△ 1	8	0
三 重	25	8	18	△ 6	95	7	12	△ 3	13	△ 3	26	△ 1
兵 庫	12	△ 1	13	0	22	△ 1	7	0	7	0	17	0
奈 良	12	△ 3	14	△ 4	219	△ 2	9	△ 3	9	0	104	0
和 歌 山	14	△ 2	15	△ 3	31	△ 1	9	△ 2	9	△ 2	38	0
岡 山	23	2	23	0	15	0	12	0	12	△ 1	27	0
広 島	161	49	150	23	105	11	86	13	77	△ 5	184	9
山 口	31	13	19	△ 1	22	12	11	△ 1	11	0	23	0
徳 島	17	0	18	0	23	△ 1	11	0	11	1	21	0
愛 媛	55	5	55	1	68	0	29	0	32	2	50	△ 3
高 知	36	△ 1	35	△ 1	37	1	19	△ 1	19	△ 1	37	0
福 岡	31	4	31	2	117	0	19	2	18	2	31	1
熊 本	57	7	60	△ 2	91	△ 3	34	0	34	0	52	0
大 分	57	2	62	△ 3	137	△ 5	34	△ 2	35	0	98	△ 1
宮 崎	139	10	136	△13	157	3	74	△ 8	67	△ 3	282	7
鹿 児 島	19	△ 3	23	△ 1	45	△ 4	13	1	12	△ 1	43	1

(参考) 年計値 -平成29年木材統計調査基礎調査結果-

木材統計調査では、素材の生産及び木材製品の生産実態を把握するため、製材月別調査（月次調査）とは別に木材統計調査基礎調査（年次調査）を実施している。年次調査は、製材用動力数が7.5kW以上の工場を、前年の製材用素材消費量を基に全数調査階層と標本調査階層に区分し、全数調査階層は全数調査により、標本調査階層は無作為抽出（系統抽出法）により抽出した1,721工場に対し調査を実施しており、参考までにこの「年計値」を併載する。

なお、2・3ページの【統計表】の月次調査結果については、製材用動力の出力が7.5kW以上の工場から抽出した522工場に対し調査を実施しており、標本設計の違いにより、製材月別調査の年間合計値と基礎調査結果は一致しない。

### 1 製材用素材の入荷量及び消費量

単位：千 $m^3$

年次	入荷量	消費量
平成28年	16,590	16,557
29	16,802	16,861
対前年比 (%)	101.3	101.8

### 2 製材品の出荷量

単位：千 $m^3$

年次	出荷量
平成28年	9,293
29	9,457
対前年比 (%)	101.8

### 3 国産材、輸入材別製材用素材入荷量

単位：千 $m^3$

年次	計	国産材			輸入材					
		小計	針葉樹	広葉樹	小計	南洋材	米材	北洋材	ニュージーランド材	その他
平成28年	16,590	12,182	12,088	93	4,408	59	3,513	230	430	174
29	16,802	12,632	12,512	120	4,171	83	3,283	242	421	145
対前年比 (%)	101.3	103.7	103.5	129.0	94.6	140.7	93.5	105.2	97.9	83.3

注：統計数値については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳が一致しない場合がある。

## 【調査の概要】

### 1 調査の目的

本調査は、木材統計調査の製材月別調査として実施したものであり、製材工場における素材の入荷量、消費量、消費見込量（翌月及び翌々月）及び在庫量並びに製材品の生産量、出荷量及び在庫量を月別に把握し、我が国の木材需給の動向及び木材産業の実態を明らかにするとともに、木材需給の安定対策等の資料を提供することを目的としている。

### 2 調査の対象

- (1) 全国の製材用動力の出力が7.5kW以上の製材工場における製材用素材消費量合計のおおむね8割を占めるまでの上位都道府県及び国有林材供給調整対策において重点的に生産・消費動向の把握をする都道府県（調査対象都道府県）の製材工場を調査の対象とした。
- (2) 都道府県別の素材消費量について、標準誤差率（目標精度）が10%になるよう調査対象工場数を設定した。
- (3) 平成30年8月の調査対象工場数は、522（有効回答数522、有効回答率100.0%）である。

### 3 調査事項

素材の入荷量、消費量及び在庫量並びに製材品の生産量、出荷量及び在庫量

### 4 調査対象期間

平成30年8月の1か月間である。

### 5 調査方法

本調査は、調査対象工場にオンライン、郵送又はFAXにより調査票を配布し、回収する方法で実施した。

### 6 集計方法

調査対象工場から得られた結果と前年の実績を基に都道府県結果を推定した。標本調査であることから工場の新設・休廃業が毎月の集推計値に即座に反映されない場合がある。

全国結果は、調査対象都道府県結果及び直近年である平成28年木材統計調査基礎調査結果に基づき以下の推定式により作成した。

$$\text{全国推定値(月別)} = \text{直近年の全国値(年間計)} \times (\text{調査対象都道府県の当月集計値} \div \text{調査対象都道府県の直近年年間計})$$

また、年度途中で調査対象工場の新設・休廃業があった場合、前月在庫量と今月在庫量の関係が一致しないことがある。

### 7 実績精度

調査対象都道府県計の素材消費量についての実績精度を標準誤差率（標準誤差の推定値÷推定値×100）により示すと、1.9%である。

### 8 用語の解説

- (1) 素材とは、製材に供される丸太及びそま角をいう。ただし、輸入材にあつては、半製品（大中角、盤及びその他の半製品）を含む。
- (2) 製材品とは、素材を製材機にかけて生産した板類、ひき割類、ひき角類等をいう。

## 9 利用上の注意

- (1) 平成30年1月分調査より調査の対象を全国の製材工場から調査対象都道府県（30道県）の製材工場に変更するとともに、全国結果については全都道府県結果の積算から、調査対象都道府県結果及び直近年の木材統計調査基礎調査結果に基づく推定に変更した。
- (2) 平成30年1月分調査より「外材」の表記を「輸入材」に変更するとともに国産材、輸入材別製材用素材入荷量のうち輸入材の内訳の把握を廃止した。
- (3) 表中に用いた記号は次のとおりである。  
「0」、「0.0」：単位に満たないもの（例：0.4千 $m^3$ →0千 $m^3$ ）  
「△」：負数又は減少したもの
- (4) この統計表に掲載された数値を他に掲載する場合は、「製材統計」（農林水産省）による旨を記載してください。
- (5) 平成30年6月分の調査結果は、平成30年7月豪雨の影響により、愛媛県及び高知県の一部の工場の調査票が回収できなかったことから、当該工場については、5月分の調査結果を用いて推計した。  
平成30年7月分の調査結果は、平成30年7月豪雨の影響により、愛媛県の一部の工場の調査票が回収できできなかったことから、当該工場については、7月中の工場の操業がなかったものとして推計した。  
なお、今後、愛媛県及び高知県の当該工場のデータが得られた場合、再集計を行い平成31年2月までにホームページに掲載する予定である。

## 10 その他

この資料の数値については、平成30年の年間の月別統計表に編集しホームページに掲載する（平成31年2月予定）とともに、その後刊行する『平成30年木材需給報告書』に掲載する。  
なお、公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせする。

### 【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。  
【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】  
この結果は、分野別分類「森林、林業」の「木材統計調査」で御覧いただけます。  
【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/mokuzai/index.html#m1> 】

### 【関連リンク】

林野庁ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/>

#### お問合せ先

- ◎本統計調査結果について  
農林水産省 大臣官房統計部  
生産流通消費統計課 畜産・木材統計班  
電話：（代表）03-3502-8111 内線3686  
（直通）03-3502-5665  
FAX： 03-5511-8771
- ◎農林水産統計全般について  
農林水産省 大臣官房統計部  
統計企画管理官 広報普及班  
電話：（代表）03-3502-8111 内線3589  
（直通）03-6744-2037  
FAX： 03-3501-9644



政府統計

政府統計の総合窓口  
(e-Stat)

<http://www.e-stat.go.jp/>

次回（平成30年9月分）の公表は、平成30年10月25日午後3時の予定です。